



東北鉄道協会における平成27年度の活動報告 ～東北の鉄道を元気にする取り組み と技術力共有化事業等～

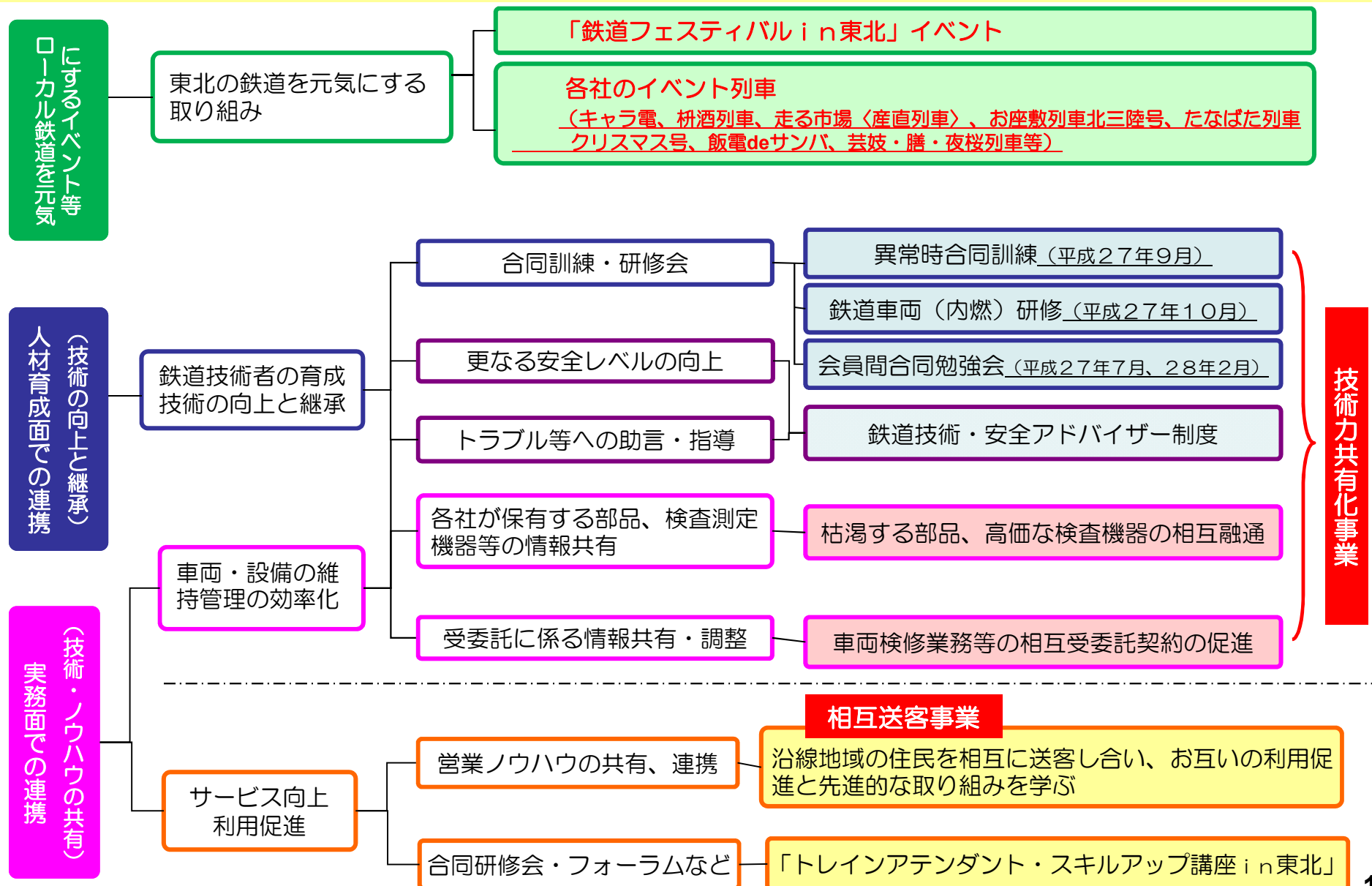
平成28年3月31日

国土交通省東北運輸局・東北鉄道協会

1. 東北鉄道協会が推進してきた「中小鉄道事業者連携プロジェクト（技術力共有化事業と相互送客事業）」は、平成21年10月、我が国の鉄道の発展に貢献した取り組みと評価され、「日本鉄道賞 地方鉄道技術連携賞」を受賞しました。
2. また、東日本大震災以降、東北鉄道協会が中心となって進めてきた「東北ローカル線 復興支援キャンペーン」は、平成23年10月、「日本鉄道賞 表彰選考委員会特別賞」を受賞しました。
3. 東北運輸局及び東北鉄道協会では、こうした中小鉄道事業者が連携した取り組みを平成20年度より毎年度毎にとりまとめ公表しています。過去の資料は、国土交通省東北運輸局のホームページ「分野別情報の鉄道」をご覧ください。

平成27年度における東北鉄道協会の取り組み（ねらいと全体像）

東北鉄道協会（民鉄・三セク鉄道事業者等20者で構成：会長 澤田長二郎 津軽鉄道代表取締役社長）では、**安全性の向上並びに東北の鉄道を元気に利用客の減少などの課題を克服**するため、**鉄道事業者間の連携**による幾つもの取り組みを推進しています。※平成27年度より道南いさりび鉄道(株)（本社：函館市）がオブザーバー会員として参画



東北の鉄道を元気にする取り組み（鉄道フェスティバル in 東北！！）

これまで沿線自治体やNPOと連携しながら、地域の生活に不可欠な生活の足として、或いは、観光客の誘客やおもてなしに力を注いできた東北のローカル線は、「鉄道フェスティバルin東北」をはじめとする様々なイベントを通じて、東北のローカル鉄道を元気にする取り組みを実施しています。

鉄道フェスティバルin東北

1. 開催日時

平成27年10月4日（日）

2. 開催場所

JR貨物/仙台貨物ターミナル駅

3. 主催者

東北地区「鉄道の日」実行委員会（東北鉄道協会も加盟）

4. イベントの内容

恒例の「鉄道フェスティバル in 東北」において、東北の各鉄道会社による鉄道グッズや沿線物産品の販売、本物の電気機関車やNゲージの展示のほか、各鉄道事業者のかわいいキャラクターが一同に集う「ゆるキャラショー」、ミニSLやミニEH500の乗車コーナーや、会場内でのスタンプラリー等を実施、1万9000人が来場し、鉄道ファンや家族連れを中心に大盛況でした。



オープニングセレモニー



子供達に人気の「ゆるキャラショー」



会場内の様子



≡二FH500乗車コーナー

東北の鉄道を元気にする取り組み（イベント列車！！）

その1

弘南鉄道のイベント列車

■「キャラ電」（平成27年8月30日運行）

弘南線で沿線市町村のゆるキャラ達とふれあう「キャラ電」を運転。7体のゆるキャラたちと車内や田んぼアート駅周辺のレクリエーション広場でご当地クイズなどを楽しんだ。



ゆるキャラとのふれあい

■「枰酒列車」（平成27年11月20日運行）

大垣市の「(有)大橋量器」地元酒造メーカー「(株)鳴海醸造店」と和風レストラン「御幸」の3社とタイアップし、青森県産にこだわった料理と特製の枰で津軽の地酒を味わう列車の旅。65名のお客様にご参加をいただき、約2時間大盛り上がり。



「枰酒列車」の車内の様子

その3

いわて銀河鉄道のイベント列車

■「いわて×駅メモ」キャンペーン列車（平成28年2月13日～3月31日運行）

モバイルファクトリーが配信する携帯用ゲーム「ステーションメモリーズ」と岩手県がコラボした「いわて×駅メモ」キャンペーンにあわせ、オリジナルヘッドマークを掲出した車両を運行。



ヘッドマークを掲出した「いわて×駅メモ」列車

その2

青い森鉄道のイベント列車

■走る市場〈産直列車〉 あおてつマルシェに乗って種差マルシェツアー（平成27年6月21日 23名）

野辺地～八戸間で「産直列車」を満喫したあと、種差の地元グルメを味わう「種差マルシェ」に参加

■さくらんぼ狩り&八食お買い物ツアー（平成27年7月4日 22名）

農林漁業体験実習館「チェリウス」でのさくらんぼ狩り、八戸の台所「八食センター」で買物などを堪能。

■あさむし女子旅・男子旅ツアー（平成27年7月28日 22名）

温泉巡りとご当地グルメ&スイーツを楽しむ旅

■親子で探検隊ツアー

（平成27年8月17日 33名）

普段は入ることのできない列車の乗車や車両基地内を見学するドキドキ体験ツアー

■小山さんちの畑で野菜収穫と畑レストランツアー（平成27年9月27日 31名）

目時駅近くの畑でキャベツ等を収穫体験し、野菜はその場で調理&ランチで沿線の秋を堪能

■青い森鉄道で行くワッツ応援ツアー（平成27年11月29日 23名）

青森駅から試合会場がある八戸までの列車内で、産直品販売や応援練習などを行い、地元プロバスケットチーム「青森ワッツ」のし合いに熱い声援を送る。

■青い森鉄道全線開業5周年記念ツアー（平成27年12月5日 20名）

車内での「いさばのかっちゃん」のお振る舞い、角巻ショー、三味線ライブを堪能し、終着の野辺地で「青い森鉄道全線開業5周年記念イベント」に参加。



さくらんぼ狩りツアー



親子探検隊ツアー



ワッツ応援ツアー



いさばのかっちゃんのお振る舞い

東北の鉄道を元気にする取り組み（イベント列車！！）

その4

三陸鉄道のイベント列車

- お座敷列車北三陸号(平成27年4月末～11月3日の土休日中心に運行)
全線運転再開にともない久慈-宮古間を 春から秋の観光シーズンに運転。
海鮮弁当の予約販売や海女のスタイルの アテンダント乗務など。
- こたつ列車(平成27年12月5日～平成28年3月27日の土休日中心の運行)
久慈-宮古間でこたつ列車(指定席)を連結して運転。
海鮮弁当の予約販売や車内でなもみが登場する車内イベントなどを実施。
- ポケモン列車南リアス号(平成27年4月4～5日)

JRのポケモン列車を花巻-釜石-盛で
直通運転(団体)、さらに南リアス
線内往復の臨時列車としても運転。
全線運転再開1周年企画として実施。



ポケモン列車南リアス号

- 花見カキ列車(平成27年4月28日 運行)
宮古特産の花見カキをお座敷列車内で
味わってもらう企画。

- アサヒスーパードライ号&三ツ矢
サイダーカルピス号(平成27年7月4日、11日 運行)

昼に子供向けの三ツ矢サイダー
カルピス号を運転(車内で
三ツ矢サイダーとカルピス製
品を楽しんでいただく。)
夜はアサヒスーパードライ飲み
放題の列車を運転。



三ツ矢サイダーカルピス号

- ランチorスイーツ列車(平成27年度のGW、夏休み、SW及び冬休み)
南リアス線釜石-盛間でレトロ列車の車内でランチまたはスイーツを楽し
んでもらう列車を運転。
- 初日の出号(平成28年1月1日 運行)
南北リアス線で初日の出を見る列車を運転。
- しおさいのメモリーズ号とさんりくしおかぜプレミアムファイナル
(平成28年3月29～31日のファイナル含め8回運行)

引退するお座敷列車
「さんりくしおかぜ」を使い
ドラマ「あまちゃん」で登場
したお座敷列車を再現。3月末
には引退記念イベント列車を運行。



さんりくしおかぜ

その5

由利高原鉄道のイベント列車

- たなばた列車(平成27年6月27日～7月7日に運行)

由利本荘市、にかほ市の子供たちの
願いを込めた短冊を車内に飾った七夕列
車を運行。ご乗車いただいたお客様には
期間限定乗車記念を、お子様には「食べ
れるお星様」をプレゼント。



たなばた列車

- 納涼ビール列車2015(平成27年7月18日、8月1日、7日)

羽後本荘～矢島間を折り返す納涼ビール列車を今年は3回運行。

- 第5回かかし列車(平成27年9月26日～10月12日)

鳥海山ろく線の各12駅にボランティアで制作していただいた個性豊か
なかかしが並びます。矢島～羽後本荘一往復にアテンダントが乗車、車
内ではかかしクイズを開催し正解者には非売品由利鉄オリジナルグッズ
をプレゼント。

- ハロウィン列車2015(平成27年10月24～31日 運行)

おばこ号がハロウィン仕様に大変身。矢島駅には撮影コーナーが登場、
仮装しておばこ号に乗っていただいたお子様にはキャンディプレゼ
ント。



ハロウィン号



撮影コーナー

- クリスマス列車(平成27年12月19～25日 運行)

車内を飾ったクリスマス列車に乗って、
楽しいクリスマスの工作やサンタさんから
プレゼントをもらおう！



クリスマス列車

- おひなっこ列車
(平成28年3月12から21日運行)

車内を由利本荘市特産のごてんまりや
矢島柳飾り、アテンダント手作りの飾り
などで装飾した列車を運行、アテンダ
ントが沿線のご案内。



おひなっこ列車

東北の鉄道を元気にする取り組み（イベント列車！！）

その6

福島交通飯坂線のイベント列車

■飯電deサンバ

平成27年6月27日
ふくしまDCの締めくく
りとしてダンスチーム
「アレグリア」のメン
バー20名が貸切電車
内でサンバを披露し、
招待客と一緒に踊りを
楽しんだ。
途中、桜水車庫に入り、
音楽ライブや飯坂太鼓
の演奏も楽しんだ。



飯電deサンバ

その7

阿武隈急行のイベント列車

■伊達氏をテーマにしたラッピング車両 (平成28年3月19日、20日、26日、 27日運行)

地方創生事業の一環として「伊達
氏」をテーマにしたフルラッピング車
両を使用し、春休み親子ツアー、正宗
ダテニクル声優さんと阿武急ツアー、
福島市めぐりなどのイベント列車を運
行。



伊達氏ラッピング車両

■ほろにが号（平成27年7月3日～9月4日 間の各金曜日 10回運行）

福島発の下り列車で、ビールを飲みなが
ら丸森町産業伝承館にご案内、涼と食を
満喫。焼き肉食べ放題、飲み物飲み放題



クリスマス号

■クリスマス号（平成27年12月20日運 行）

会場へ向かう列車の中で専門学校の生徒
制作のお菓子プレゼントやお楽しみ抽選
会。角田駅2階の会場では子供たちデザ
インのオリジナルケーキの試食など。

その8

会津鉄道のイベント列車

■花咲く会津号に乗ってご当地 キャラクターと遊ぼう

平成27年4月から6月まで、のべ6
回会津のご当地キャラクターをラッ
ピングした花咲く会津号の車内で、
ご当地のPRやキャラクターとじゃ
んけん大会を実施。



花咲く会津号

■お花見列車

平成27年4月18、19、26日お座敷列
車で、西若松駅から会津田島間を乗
車、生ビールを飲み、車窓から夜桜
を見て楽しんでいただきました。

■芸妓・膳・夜桜列車

平成27年4月29日、お座敷列車で、
会津を代表する東山芸妓が踊り
を披露。会津の地酒と郷土料理
を堪能いただきました。



芸妓・膳・夜桜列車

■冷えひえビール列車

平成27年8月9、30日、9月6、13日走
るピアガーデンとして運行、車内
でじゃんけん大会で盛り上がりま
す。

■サンタ列車

平成27年12月23、24日、お座ト
ロ展望列車のトロッコ、展望車両
を装飾し、サンタが乗り込み、参
加者にプレゼントやビンゴゲーム
等を行いました。



サンタ列車

■ほろ酔い列車

平成27年12月から28年3月まで、
のべ8回、お座敷列車で雪景色
を見ながら新鮮な刺身セットと
地酒を堪能いただきました。

技術力共有化事業（その1 合同訓練の実施）

事業者単独では実施困難な大がかりな訓練等を効果的・効率的に実施するため、**鉄道事業者が連携した合同訓練等を開催して、技術力・安全性の向上**を図っています。平成27年度はIGRいわて銀河鉄道／好摩駅構内など・会津鉄道／田島車両基地などにおいて踏切人身事故対応、車両脱線復旧訓練、負傷者救出訓練等を実施しました。

現状における課題

1. 高度な技術的知見を有する技術講師の招聘や大がかりな訓練を各社が個別に実施するのは非効率。
2. 長期間・遠方での研修に社員を参加させるのは困難。
3. 社内の指導のみでは、幅広い知識・技術・視野を持った技術者の育成が困難。
4. 技術分野毎（土木、電気、車両、運転）に、高い専門性と最新の知見を有する技術者の育成が必要。

訓練等を連携して行うメリット

1. 大がかりな訓練や高度な知見を有する講師の招聘等を効率的・効果的に実施。
2. 研修会等のプログラム作成に各事業者のニーズを反映。
3. 他社の優秀な技術者によるチェック（例えば、A社の技術部長がB社を指導・助言）により技術の共有・向上。



9月17日//主催:IGRいわて銀河鉄道／好摩駅他

1. 参加事業者（6鉄道事業者等）

青い森鉄道、津軽鉄道、弘南鉄道、三陸鉄道、八戸臨海鉄道、由利高原鉄道等

2. 訓練内容

踏切人身事故対応訓練、駆け込み乗車の取扱い訓練 等

3. 開催場所

IGRいわて銀河鉄道 /好摩駅構内 他



9月30日//主催:会津鉄道／田島車両基地他

1. 参加事業者（11鉄道事業者等）

三陸鉄道、IGRいわて銀河鉄道、岩手開発鉄道、仙台空港鉄道、仙台臨海鉄道、秋田内陸縦貫鉄道、由利高原鉄道、山形鉄道、阿武隈急行、福島交通、福島臨海鉄道 等

2. 訓練内容

車両脱線復旧訓練、負傷者救出訓練 事故通報連絡訓練等

3. 開催場所

会津鉄道/田島車両基地他



技術力共有化事業（その2 鉄道車両研修など）

鉄道車両研修

1. 事業概要

内燃車両の安全運行に重要な点検作業等を現場実習等することで技術・知識を習得するとともに、各鉄道会社担当者が一堂に会し、ネットワークを構築することで広範囲での技術継承を行うことを目的に、1泊2日の合宿形式で学習。

2. 開催日時・場所・受講者

日 時：平成27年10月19～20日（1泊2日）

場 所：三陸鉄道(株)久慈車両基地等

受講者：22名（鉄道協会に加盟する13事業者）の鉄道技術者等

3. 研修内容

- （1）最近の内燃車両の故障状況及び故障に伴う鉄道障害、車両点検の要点、内燃車両の故障事例などについて受講
- （2）「保守点検・整備について」グループ討議
- （3）車両検査の実習など

1日目は、東北運輸局、車両メーカー担当者及び鉄道総研講師からの講義と旅客と貨物のグループに分かれ、「保守点検・整備などで困っていること」などをテーマに意見交換。2日目は、三陸鉄道（株）久慈車両基地で実技実習を行った。

参加者からは、車両点検の要点と部品の交換時期の目安、作業方法を知ることができた、他社の検査のやり方や備品管理の手法が参考になったなどの感想が出され、好評だった。

また、鉄道で働く人たちと横のつながりができたことが収穫だったとの感想が多く出された。



写真）鉄道総研による講義



写真）グループ討議



写真）修了証交付式



写真）実技研修

技術力共有化事業（その4 部品や機器の共有、メンテナンスの受委託）

枯渇する鉄道部品・高価な検査機器の相互融通

現状における課題

1. 車両・設備等の老朽化の進展と交換用部品等の枯渇（調達に長期間を要する）。
2. 高価な検査測定器を個別に購入・保有するのは不経済・非効率。
3. 経営環境の悪化に伴う維持管理コストの削減。
4. 近隣他社の保有する検査測定機器・余剰部品の情報不足。

相互融通により、迅速で低コストな部品・機器の調達が可能

秋田臨海鉄道から八戸臨海鉄道へ部品の譲渡

機関車部品：B6吸気弁1個を譲渡。



秋田内陸縦貫鉄道と由利高原鉄道間での機器の貸与

軸重測定器貸与（共同所有）



津軽鉄道から弘南鉄道へのメンテナンスの受委託

踏切警報機関係のAF軌道回路送受信機、シリコン整流器、警報スピーカーの修理を弘南鉄道に委託

AF 軌道回路送受信機



シリコン整流器



警報スピーカー



岩手開発鉄道へのメンテナンスの受委託

三陸鉄道では、全般検査に伴う機関検査、車輪削正、月検査、臨時整備を岩手開発鉄道に委託。

写真）エンジン分解検査



写真）月検査



写真）車輪削正作業



写真）エンジンオーバーホール

秋田内陸縦貫鉄道では、全般検査に伴うエンジン及び燃料噴射ポンプのオーバーホールを岩手開発鉄道に委託。



営業ノウハウの共有、連携！『相互送客事業』

相互送客事業のわらい

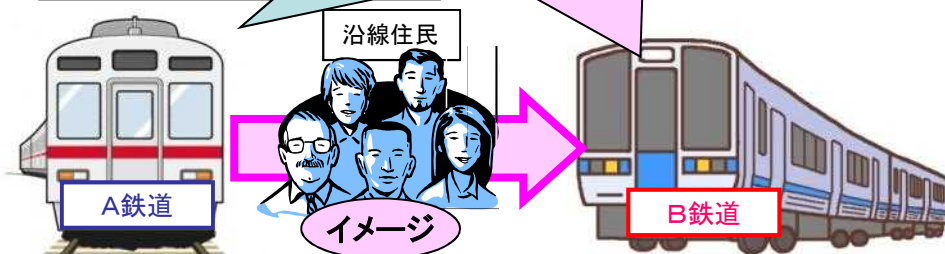
地方鉄道相互に連携しながら企画旅行を造成し、沿線住民等をお互いに送客しあうことで、訪問先の鉄道の先進的な取組を学び地元鉄道の活性化のアイデアに活かすとともに、訪問先の鉄道の利用促進にも貢献する**全国的にも珍しい『相互送客事業』を平成19年度から実施。**

送り出し側のメリット

訪問先の鉄道の先進的な取組を学び、地元鉄道の活性化

受け入れ側のメリット

県外からの誘客に加え、独自のおもてなしにより知名度向上、リピーター獲得



車内でのイベントや車両基地見学など普段の旅行では味わえない企画が満載！

平成27年度における相互送客事業実績一覧

主催会社	実施時期	訪問先	人数
IGRいわて銀河鉄道	H27.11/3,10	秋田内陸縦貫鉄道	45名
IGRいわて銀河鉄道	H28.3/11	三陸鉄道	67名
秋田内陸縦貫鉄道	H27.6/13	三陸鉄道	25名
秋田内陸縦貫鉄道	H27.7/8	三陸鉄道	7名
秋田内陸縦貫鉄道	H28.2/21	由利高原鉄道	7名
秋田内陸縦貫鉄道	H27.8/20～9/30	弘南鉄道	21名
由利高原鉄道	H28.2/7,8	津軽鉄道	15名

事例1 GRIわて銀河鉄道から秋田内陸縦貫鉄道へ

時期：平成27年11月3日、10日（計45名）

概要：「みなと土崎「ふぐ御膳」と秋田内陸縦貫鉄道の旅」と銘打ち、秋田県への旅行商品に組み込んだ。



写真）秋田内陸縦貫鉄道車内の様子など

事例2 秋田内陸縦貫鉄道から弘南鉄道へ

時期：平成27年8月20日～9月30日（21名）

概要：両鉄道の田んぼアートのコラボ企画として、弘南鉄道記念乗車証を持参し秋田内陸縦貫鉄道を利用した際、記念品をプレゼント。

事例3 由利高原鉄道から津軽鉄道へ

時期：平成28年2月7～8日（15名）

概要：由利高原鉄道「ふれあい号」で出発、津軽鉄道ストーブ列車に乗車し、立佞武多やいなかだてスノーアートを楽しむツアー。

地域の活性化を図るための合同勉強会

1. 開催日時

日時：平成28年2月12日

2. 事業者

I GRいわて銀河鉄道、三陸鉄道及びバス会社2社：7名

3. 勉強会内容

・I GRいわて銀河鉄道・三陸鉄道・JRバス東北・岩手県北バスがタイアップし、列車とバスを乗り継いで岩手県北部の広域観光を提案している「きたいわてぐるっとパス」の料金改定と継続のための検討会を行った。



「きたいわてぐるっとパス」のリーフレット



第6回トレインアテンダント・スキルアップ講座in東北

1. 開催日時

平成27年11月18日（水）～19日（木）

2. 開催場所

岩手県田野畑村 ホテル羅賀荘

3. 主催者

東北鉄道協会

4. 主なプログラム

- (1) 三陸鉄道アテンダントによる沿線案内
- (2) 津波語り部によるガイド
- (3) 講演

- ・三陸鉄道(株)代表取締役社長 望月 正彦 氏
- ・田野畑村政策推進課主任主査 渡辺 謙克 氏

- (4) グループごとにテーマ別ワークショップ（発表）

※今回は、トレインアテンダントの自立を目指す観点からの講座を実施。

5. 受講者（8鉄道事業者17名）

津軽半島観光トレインアテンダント（津軽鉄道）、青い森鉄道アテンダント、三陸鉄道アテンダント、I GR地域医療ライオンアテンダント、秋田内陸縦貫鉄道観光アテンダント、由利高原鉄道トレインアテンダント、山形鉄道総務部企画担当、会津鉄道トレインアテンダント



平成27年度の様子（ホテル羅賀荘で開催しました）

踏切事故防止の取り組み

踏切脱出体験訓練会

1. 開催日時・場所

日時：平成27年7月28日

場所：いわて銀河鉄道 金田一温泉構内

2. 事業者等

IGRいわて銀河鉄道、津軽鉄道、八戸臨海鉄道、岩手開発鉄道、三陸鉄道、青い森鉄道

地域住民約120名

3. 体験訓練会内容

踏切内の事故防止に向け、二戸市金田一の踏切で脱出体験訓練会を開催。いわて銀河鉄道のほか三陸鉄道など鉄道6社と地域住民ら約120人が参加し、緊急時の対応を確認した。訓練は、車で踏切を横断中に遮断機が下りて閉じ込められた場合を想定。IGR職員が非常ボタンの操作法、発炎筒の使い方、車の脱出方法を実演した。



非常ボタンの説明



訓練者 非常ボタン操作法実演



発炎筒の使い方実演



踏切からの脱出方法実演

踏切事故防止キャンペーン

1. 開催日時・場所

日時：平成27年9月6日

場所：東北運輸局青森運輸支局構内

2. 事業者

青い森鉄道、津軽鉄道、IGRいわて銀河鉄道 JR盛岡支社

3. キャンペーン内容

東北運輸局青森運輸支局構内において開催される「自動車点検フェスティバル」に「踏切からの脱出体験コーナー」を出展し、来場者に模擬踏切による脱出訓練を体験していただいたり踏切事故防止啓蒙クリアファイルやチラシ等の配布、アンケートを行った。また、青い森鉄道「モーリー」やJR「トレインジャー」との記念撮影会を開催した。フェスティバルには約3200名が来場し、踏切事故防止啓蒙のよい機会となった。



踏切事故防止チラシ等の配布



模擬踏切からの脱出方法実演



「モーリー」との記念撮影



「トレインジャー」との記念撮影

（一社）日本鉄道施設協会及び（一社）日本鉄道車両機械技術協会との連携による研修

軌道の維持管理講習会

1. 開催日時・場所

日時：平成27年10月7日

場所：盛岡貨物ターミナル駅

2. 主催

（一社）日本鉄道施設協会

3. 参加事業者

津軽鉄道、弘南鉄道、青森県、青い森鉄道、八戸臨海鉄道、三陸鉄道、IGRいわて銀河鉄道、岩手開発鉄道、仙台空港鉄道、仙台臨海鉄道、秋田内陸縦貫鉄道、秋田臨海鉄道、由利高原鉄道、山形鉄道、阿武隈急行、福島交通、会津鉄道、福島臨海鉄道。

4. 講習会内容等

日本線路技術の担当講師から保線にかかる講義を受けた後、実際の線路を使って軌道の保守作業とそのポイントを学んだ。



鉄道局施設課室長あいさつ



日本線路技術担当からの講義



実習の様子



実習の様子

車両保守における技術継承研修会

1. 開催日時・場所

日時：平成27年10月7～8日

場所：東日本旅客鉄道（株）郡山総合車両センター

2. 主催

（一社）日本鉄道車両機械技術協会

3. 参加事業者

青い森鉄道、IGRいわて銀河鉄道、仙台市交通局、福島交通、会津鉄道、ひたちなか海浜鉄道

4. 講習会内容等

車両保守による技術継承のための研修テキストを用いて、月検査のポイントの座学と719系電車を活用した技術指導を実施するとともに、人事育成設備見学を行った。



座学の様子



現車を活用した技術指導



現車を活用した技術指導



現車を活用した技術指導